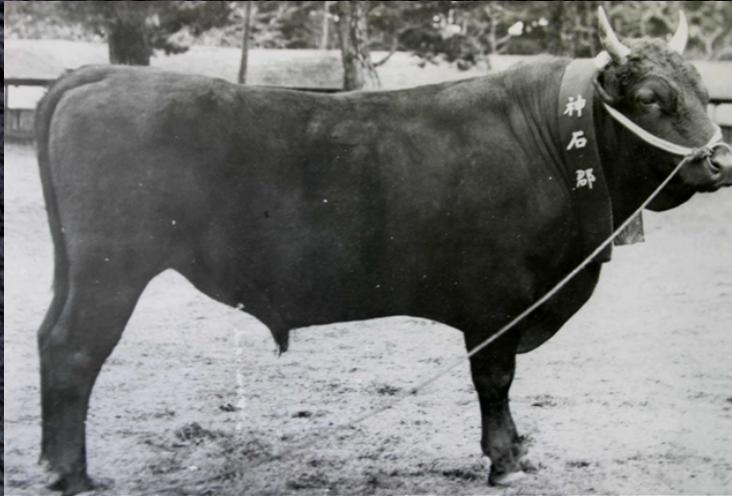


## 広島県種雄牛紹介

大正天皇御大葬の儀「轎車奉引牛」

豊萬 神石血統



### 【生年月日】

大正11年

### 【産地】

広島県神石郡豊松村

大正15年12月25日、大正天皇が崩御され昭和2年2月7日に御大葬の儀が挙行された。この時、性質温順、強力持久、外観の美が評価され、広島県の産牛が「轎車奉引牛」下命の栄誉を担った。広島県の神石郡から2頭の奉引牛が選定され、その内の1頭が神石牛の祖として名高い「豊萬号」であった。大葬の役割を果たした「豊萬号」は、神石郡畜産組合へ下賜され後世に「第2横利」を輩出する等、その血は現在も脈々と引き継がれている。

## 系統図

